

# YAGI REPORT

第107期 年次報告書  
2018年4月1日▶2019年3月31日

## とどまるな。

初めての場所は、不安だ。  
チャレンジは、いつだって恐ろしい。  
しかし、何もしていないからこそが  
リスクなのだ、わたしたちは知っています。  
ヤギは、創業125年を迎え、  
継続のその先にある領域へ進出します。  
さあ、未踏の地まで行ってみよう。  
そこには、訪れる未来があるはずだ。



YAGI  
125TH  
SINCE 1893

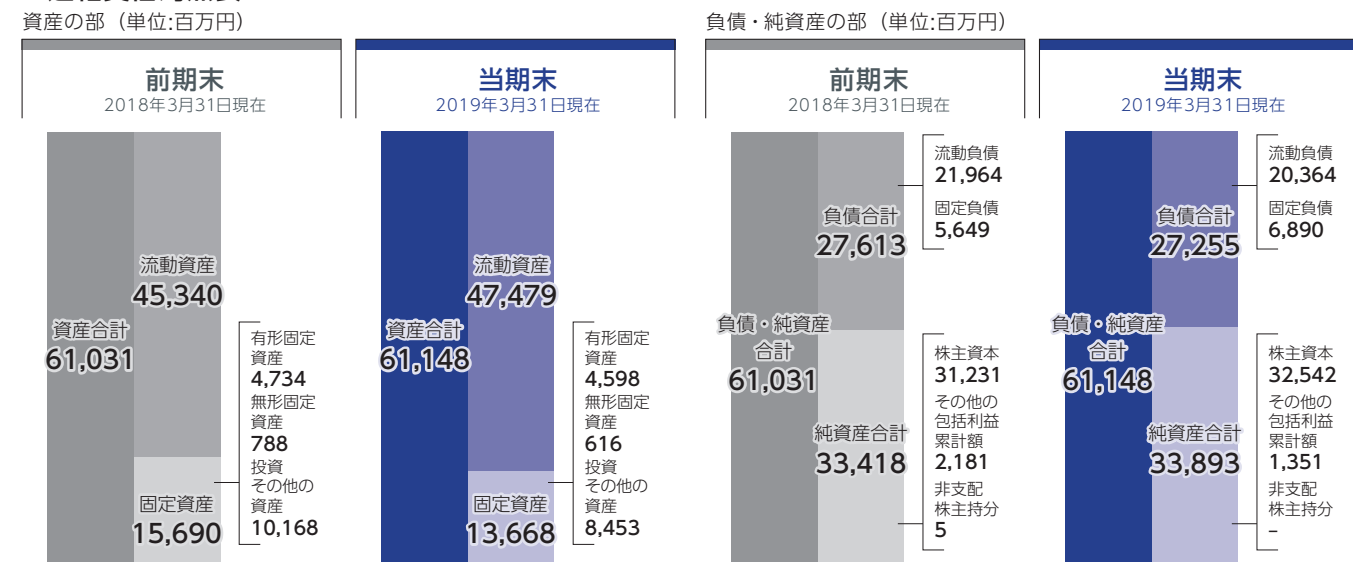
株式会社ヤギは、  
創業125年を迎えました。

証券コード：7460

織研新聞社が主催する第36回織研流通広告賞にて、  
当社創業125周年広告が第1部門銀賞を受賞しました。

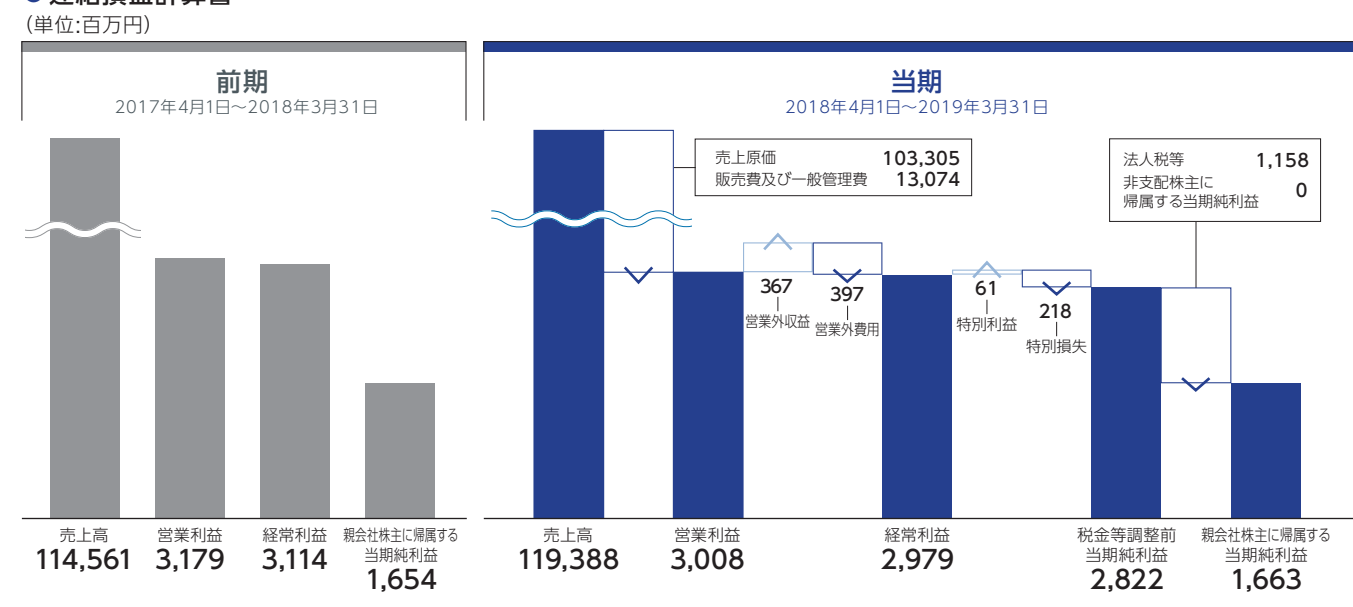
## ▶ 連結財務データ

### ● 連結貸借対照表

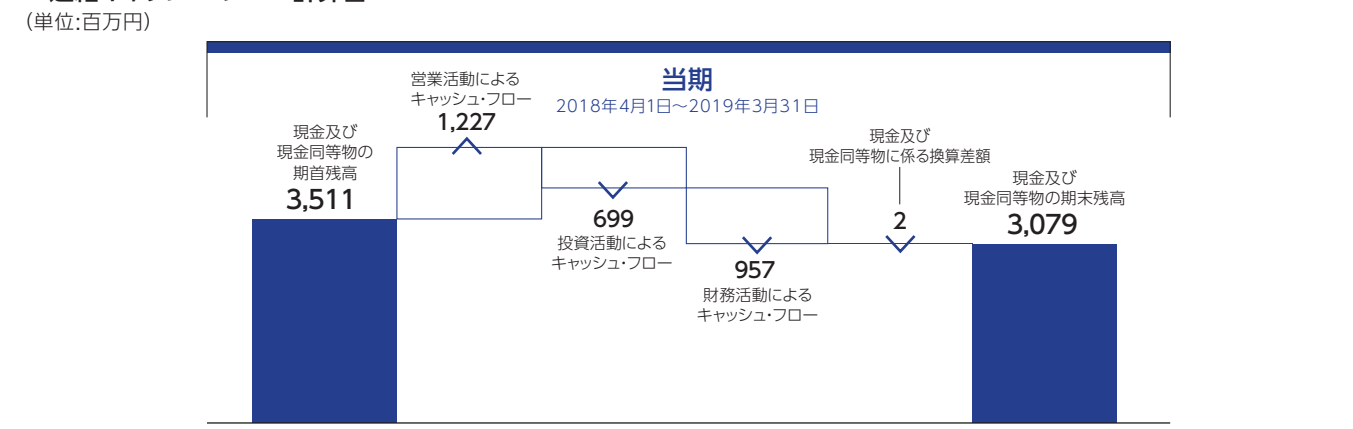


(注)「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」(企業会計基準第28号平成30年2月16日)等を当連結会計年度の期首から適用しており、2018年3月期は、適用後の数値となっております。

### ● 連結損益計算書



### ● 連結キャッシュ・フロー計算書



## 会社概要 (2019年6月27日現在)

会社の概要  
社名 株式会社 ヤギ  
英文社名 YAGI & CO.,LTD.  
創業 1893年(明治26年)10月16日  
設立 1918年(大正7年)4月28日  
資本金 1,088,000,000円  
主な事業内容 綿化繊維、合繊糸、綿化繊維物、合繊織物、ニット生地及び衣料品等の各種繊維二次製品の国内販売ならびに輸出入  
主要な事業所 (国内) 大阪本社 大阪市中央区久太郎町二丁目2番8号  
東京本社 東京都中央区日本橋小網町18番15号  
支店 福井(福井市)  
出張所 名古屋(名古屋市)  
営業所 和歌山(和歌山市)  
(海外) 駐在員事務所 上海(中国)  
ホーチミン(ベトナム)  
ハノイ(ベトナム)  
ダッカ(バングラデシュ)

## 株式の情報 (2019年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 45,568,000株
- 発行済株式の総数 10,568,000株
- 株主数 1,507名
- 大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
ヤギ共栄会	845(千株)	10.23(%)
ピーイーエチ フィデリティ ビューリタン フィデリティ シリーズ イントリナシク オポチュニティズ ファンド	450	5.45
株式会社みずほ銀行	410	4.97
株式会社三井住友銀行	380	4.60
バンク オブ ニューヨーク シーエム クライアント アカウン トジェビアー ルディア イエスジー エフイー エシー	349	4.23
ゴールドマン サックス インターナショナル	309	3.75
株式会社三菱UFJ銀行	305	3.69
ヤギ従業員持株会	281	3.41
第一生命保険株式会社	250	3.03
クロスプラス株式会社	229	2.77

(注) 持株比率は自己株式(2,305,932株)を控除して計算しております。

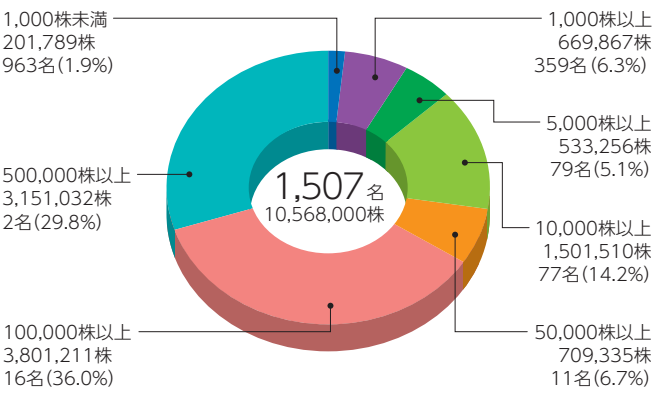
## 役員一覧 (2019年6月27日現在)

- 代表取締役社長 八木 隆夫  
常務取締役 山岡 一朗  
取締役 長戸 隆之  
取締役 馬渡 武継  
取締役 岡本 富雄  
取締役 杉岡 弘康  
取締役 濱田 哲也  
取締役(常勤監査等委員) 三浦 明石  
取締役(監査等委員) 池田 佳史  
取締役(監査等委員) 塩田 修  
取締役(監査等委員) 熊谷 弘

(注) 取締役池田佳史、塩田修及び熊谷弘は、社外取締役であります。

(注) 本年次報告書中の記載金額および株式数は表示単位未満の端数を切り捨てております。

## ● 所有株数別分布状況



## 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日までの1年  
定時株主総会の基準日 3月31日  
剰余金の配当の基準日 中間配当を行うときは9月30日  
単元株式数 100株  
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社  
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社証券代行部  
(電話照会先) 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)  
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。  
公告の方法 電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。なお、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。  
ホームページ <https://www.yaginet.co.jp/ir/announce.html>

### 【住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について】

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

### 【未払配当金の支払いについて】

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## ▶ 株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社は、2019年3月31日をもって、第107期事業年度を終了いたしましたので、ここに事業等の概況につきましてご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が見られ、各種政策の効果もあり緩やかな回復基調で推移しました。しかし、消費者の節約志向は依然根強く、人手不足による人件費の高まりと物流費用の上昇に伴うコスト増や、海外では米国の政権における保護主義の強まりと欧州での不安定な政情など、世界的な景気減退に発展しかねない状況にあり、先行き不透明な状態が続いております。

このような状況の下、当連結会計年度は当社グループが進めている3カ年の中期経営計画「SPARKS 2020」の2年目にあたり、「総合力発揮の強化」「新領域への挑戦」「構造改革の実行」の3点を重点方針とし「新しい商社像」を示せるリーディングカンパニーとなるべく、その実行に向けて、差別化商材の供給力強化や優先取引先との取り組み深耕、国内外のグループ経営基盤の強化に努めました。この結果、当連結会計年度の売上高は119,388百万円(前期比4.2%増)、営業利益は3,008百万円(前期比5.4%

減)、経常利益は2,979百万円(前期比4.3%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は1,663百万円(前期比0.6%増)となりました。

今後におきましても、当社が1893年の創業以来築き上げてきた、信用と実績をさらに高めていくために、経営の効率性向上とグループシナジーを強化することにより企業価値向上に努めてまいります。株主の皆様におかれましては、なにとぞ一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



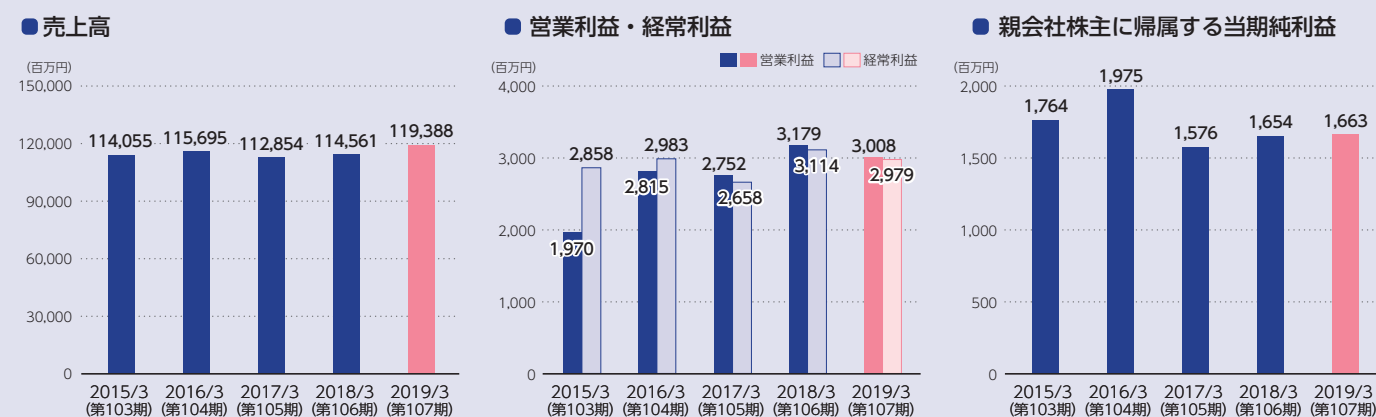
代表取締役社長 八木隆夫

2019年6月

## 配当について

配当につきましては、長期的な視野で安定した利益還元と、経営基盤強化のための内部留保充実をバランスよく行っていただくことを基本方針としております。  
当基本方針に基づき、当期末配当金は1株につき47円とさせていただきます。  
また、次期の期末配当金は1株につき47円を予定しております。

## ▶ 財務ハイライト(連結)



詳しくは当社ホームページをご覧ください ▶▶▶▶ ヤギIR



株式会社 ヤギ

〒540-8660 大阪市中央区久太郎町二丁目2番8号  
<https://www.yaginet.co.jp>

## ▶ 分野別の概況

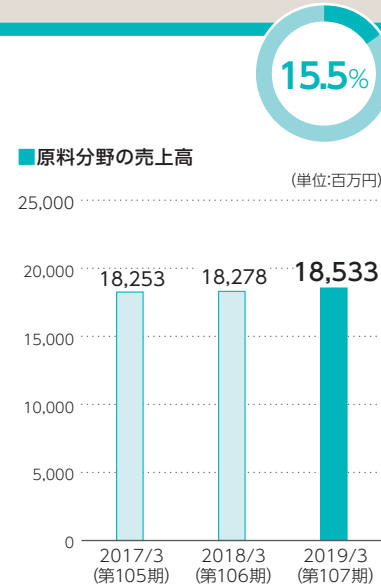
### 原料分野



原料分野は、天然繊維原料は、取り巻く市場環境がより悪化し、同業他社では縮小や一部撤退を余儀なくされており、誠に厳しい状況となりました。合成繊維原料は、加工糸及び備蓄糸が依然好調ながら、価格の上昇を転嫁することができず状況が続きました。なお、高付加価値原料は、需要がますます拡大し供給面で苦戦を強いられましたが、堅調に推移することができました。

このような状況の下、当社グループは、テキスタイル分野との連携による相乗効果の創出を推進し、優良取引先との取り組み深耕や、生産集約による加工効率向上により収益基盤の構築に努めるなど、業績の維持・拡大を図りました。

この結果、原料分野の売上高は18,533百万円(前期比1.4%増)となりました。



### テキスタイル分野



テキスタイル分野は、国内衣料品の需要が依然低迷しており、一部特殊な生地を除き、主力の定番的な生地は苦戦を強いられました。一方、人手不足により人件費や物流費が上昇したことで、生産や染色加工などの背景は縮小が続き、川下からの短サイクル小ロット対応への要望に応えることが益々難しくなる中で、当社のテキスタイルのストックビジネスの優位性が顕著となり、堅調に推移することとなりました。

このような状況の下、当社グループは、販売戦略の要である「テキスタイル・プロジェクト」において、素材企画力を活かした売れ筋商材開発やグループ会社との共同展示会開催による販売強化に努めました。また原料分野との協業強化を意識しながら、戦略商材の開発に注力いたしました。

この結果、テキスタイル分野の売上高は15,342百万円(前期比7.0%増)となりました。



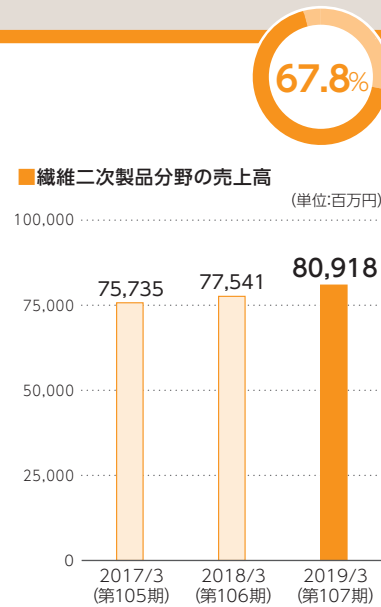
### 繊維二次製品分野



繊維二次製品分野は、ゴールデンウィークまでは気候に恵まれ好調でしたが、その後、梅雨明けからの記録的な猛暑に続き断続的な大型台風や豪雨、さらに後半は暖冬となることで店頭は苦戦を強いられました。しかし、一部ワーク系はファッション性を取り入れることで好調となり、高価格品についてもブランドによりますが比較的健闘しました。また消費マインドに関しては、特に若年層のECサイト等への移行が、ますます顕著となりました。

このような状況の下、当社グループは、企画段階から請け負った製造・供給するODM生産を推進する一方、原料・テキスタイル分野との協業やブランドビジネスの発想を取り入れた新規オリジナル商材の開発を加速しており、市場での競争力を強化することに努めました。

この結果、繊維二次製品分野の売上高は80,918百万円(前期比4.4%増)となりました。



(※売上高構成比はこの他に、繊維事業その他3.5%、不動産事業0.4%があります。)

## Topics

### SPARKS 2020

中期経営計画「SPARKS 2020」(2018年3月期-2020年3月期)では、「総合力発揮の強化」「新領域への挑戦」「構造改革の実行」の3点を重点方針と位置づけ、企業価値の最大化に取り組んでいます。それぞれの当社取り組みの一部をご紹介します。

#### I. 総合力発揮の強化

グループ会社との共同展示会を積極的に開催し、互いの得意分野を掛け合わせた新発想のビジネス創出に取り組んでいます。

##### ▶ ヤギ × 山弥織物 欧州有数のファッション・素材見本市「Milano Unica(ミラノ・ウニカ)」に合同出展

2019年2月5日~7日、イタリア・ミラノのファッション素材見本市「ミラノ・ウニカ」に、当社グループの山弥織物(株)と合同で出展しました。当社はストレッチ布帛素材、サステイナブル、エコとラグジュアリーとの融合をテーマに、山弥織物の加工技術を活用した素材を約100点出展し、イタリアを中心に欧州ブランドへ提案しました。



##### ▶ ヤギ × イチメン 2020年春夏海外素材展示会 -SEA LABEL- 開催

2019年4月18日~19日 東京都渋谷区の当社ショールーム「YAGI 千駄ヶ谷ベース」で、当社グループのイチメン(株)と共同で2020年春夏海外素材展示会を開催しました。通常は国内生産を主としていますが、当社の生産背景のシナジーを活かし、中国・インド・ベトナムでの海外素材開発を行いました。



テストは活かしながら価格を抑え、幅広いゾーンに訴求する商品群を「SEA LABEL」と称し、ストック展開による販売を拡大していきます。

#### III. 構造改革の実行

厳しい市場環境においても当社グループの競争力の強化に向けて、人事企画機能と経営管理機能を重点強化しています。

##### ▶ 人事制度の刷新

これまでの繊維商社の枠にとらわれることなく、新しい価値の創造に向けて、社員がワクワク感を持って働けるよう、2018年度より10年ぶりに人事制度を刷新しました。自律的にチャレンジできる仕組みや、柔軟な働き方の推進など、より一層の充実を図ります。

##### ▶ 基幹系業務システムの更新

経営環境がめまぐるしく変化する中、基幹系業務システムを更新(2019年10月稼働予定)することで、ICTを活用したより高度な経営管理の実現と業務の生産性向上・ペーパーレス化を推進します。

## ▶ グループ企業一覧

### 連結子会社

主な事業内容	主な事業内容
● 日本パフ株式会社	化粧品パフ及び外衣製造
● 株式会社ヴィオレッタ	ラッセル編物の製造・販売
● YAGI & CO.,(H.K.) LTD.	繊維製品及びその原料の輸出入販売
● 株式会社マルス	不動産賃貸業
● TATRAS INTERNATIONAL株式会社	衣料品の製造・販売
● イチメン株式会社	アパレル向け生地・製品の企画販売
● 山弥織物株式会社	撚糸・織物の製造・販売
● 株式会社アタッチメント	紳士服・婦人服及び服飾雑貨のデザイン、製造及び販売

### 主な非連結子会社

主な事業内容	主な事業内容
● 株式会社ソレイユ	ラッセル編物の製造
● 日帕化粧品(嘉善)有限公司	化粧品パフの製造
● 譜洛華時(上海)貿易有限公司	繊維製品の販売
● 八木貿易(深圳)有限公司	原料・テキスタイルの販売
● PT. SANDANG MAJU LESTARI	繊維製品の販売
● SOCIAL GARMENT LLC	衣料品の製造・販売
● TATRAS SRL.	衣料品の製造・販売
● YAGI USA LLC	繊維製品その他の販売

#### II. 新領域への挑戦

従来の繊維関連にとどまらず、新しいライフスタイルの提案など、ヤギならではの商材とサービスの開発・展開を進めております。

##### 「YAGIthical」(ヤギシカル)の取り組み始動

大量生産・大量廃棄に対する社会的要請や、持続可能な社会の発展を目指し「KEEP ON GOING(続けよう、未来のために)」をコンセプトに新たな活動をスタート。当社グループのエシカルへの取り組みを総称して「YAGIthical(ヤギシカル)」と名付け、これまで以上に、人や社会、環境に配慮した活動を行ってまいります。



##### ▶ 持続可能な社会づくりへの貢献を目指し、エシカル事業領域に進出

###### 株式会社REPRO-PARKの設立

使い捨てる時代から、愛着あるモノを修理しながら長く使い続ける時代へと、消費者意識や購買行動は変化しています。ヤギは二次流通市場の拡大を見据え、「リペアがつかなく、豊かな生活を目指して」をミッションに(株)REPRO-PARK(TATRAS INTERNATIONAL(株)、(株)桑原、当社との合併会社)を2019年3月1日付で設立しました。アパレル商品及びファッション雑貨の補修、クリーニングなどを行っています。価値あるリペアサービスを社会に創出しながら、エシカル事業を拡大し、持続可能な社会への取り組みに貢献していきます。



▶ <https://repropark.jp/>

##### ▶ イギリス企業と不織布の販売契約を締結し、資材関連事業を推進

2018年5月にイギリスの大手不織布メーカー Low & Bonar社の中国子会社であるBONAR HIGH PERFORMANCE MATERIALS(CHANGZHOU)との間で、Low & Bonar社の不織布ブランド「Colback」(コルバック)の日本国内販売店契約を締結しました。

##### ▶ 衣・食・住・遊をテーマに、トータルプロデュースでの新しいライフスタイルを提案

2018年4月に新領域ビジネスを仕掛ける戦略事業推進部門を新設し、ファッションを軸に「衣・食・住・遊」の事業化を推進しています。また、アメリカにYAGI USA LLCを設立し、日本の良いものをアメリカで販売し、アメリカの良いコンテンツを日本に持ち込むなどの取り組みを行っています。



その第一弾として、日本の健康的な食文化を世界に広げる取り組みを始めました。ニューヨーク在住のパティシエ、CLIO GOODMAN(クリオ・グッドマン)により、日本食材を使用した「ニューヨークスタイルのスイーツ」を、2019年2月19日~22日東京ビッグサイト開催の国際ホテル・レストランショーにて発表しました。

##### ▶ BUTSU/YOKU (ブツヨク)公式通販サイトをスタート

モノとヒトをキュレーションするファッション・ラボ「BUTSU/YOKU」(ブツヨク)公式通販サイトを開設。当社取り扱い新ブランドの「Yeti」やスキンケア商品のオンライン販売をスタートしました。

▶ <https://shop-butsuyoku.jp/>



### 関連会社

主な事業内容	主な事業内容
● 株式会社REPRO-PARK	アパレル修繕事業
● PROGRESS (THAILAND) CO.,LTD.	繊維原料・生地・繊維二次製品の輸出入・販売
● YAGI VIETNAM COMPANY LIMITED	繊維原料・生地・繊維二次製品の輸出入・販売
● フジサキテキスタイル株式会社	テキスタイルの販売
● 株式会社グレイス	キャラクター商品の企画・製造・販売

(注) TATRAS JAPAN株式会社は2019年3月1日付で株式会社ストラダエストを吸収合併し、商号をTATRAS INTERNATIONAL株式会社へ変更しております。